

いのち
生命の言葉

平成二十八年五月

少年^{いっすん}老^おい易^{やす}く学^{がく}成^なり難^{がた}し
一寸^{いっすん}の光陰^{こういん}軽^{かろ}んずべからず

しる
朱熹

裏面もご覧ください。

神社は心のふるさと
未来に受け継ごう
「美しい国ぶり」

いのち
生命の言葉
五月

若いうちは勉強する時間は
たくさんあると考えるが、
時間というもの
すぐに過ぎ去ってしまうので、
少しの時間でも無駄にしてはならない
という意味。

朱熹（しゆき）

中国宋代の儒学者。朱子学の創始者。明治時代の
漢文教科書に掲載されて以降、作者は朱熹（朱子）
であるとされてきたが、朱熹の詩文集には見られず、
近年は室町時代の臨済宗の僧、観中中諦（かんちゅう
ちゅうたい）の作であるという見方が強まっている。

びわの実のなる季節、ご参拝の皆さまに実り多きことを祈ります

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp/>